

財務省 御中

広報活動の改善を目的とした調査 (パンフレット評価のための会場調査)

～報告書～



調査目的	財務省の政策、その背景にある社会構造の変化及び財務省の広報活動等が、国民にどの程度認知・理解されているのかを調査するため、アンケート調査を行うもの。 対象者に対してパンフレットを提示してどこがわかりやすい・わかりにくいなど評価を取得し、今後の広報活動の改善の材料とする。
調査課題	回答者の属性に関する質問 広報資料(パンフレット)の理解度等に関する質問
調査手法	会場調査
対象者条件	【性別】 男性、女性 【年齢】 16歳~59歳 【地域】 1都3県(東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県) 【その他条件】 特になし
回収数	本調査:15サンプル
割付	下記5割付 ※均等割付 (イ)高校生・大学生 (ロ)経済興味ある、大学生までの子ども同居 (ハ)経済興味ある、子ども同居なし (ニ)経済興味ない、大学生までの子ども同居 (ホ)経済興味ない、子ども同居なし
調査期間	2025年2月9日(日)
調査機関	株式会社ネオマーケティング

- ・nは回答者数を表している。
- ・回答率(%)は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。
このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- ・設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。
- ・nが30未満の数値は参考値とする。

『これからの日本のために財政を考える』パンフレットについて (P7~P13)

- 全ページを読んでいる人が殆ど (13/15人)
- 新しく知ったことが多かった (10/15人 (とても多かった3/15人+わりと多かった7/15人))
 - 新しく知ったページ [V-19]プライマリーバランスとは何か (12件)
 - [IV-16]グリーン・トランスフォーメーション (11件)
 - [V-18]日本はどのように財政健全化を図っていくのか (10件)
- 情報量 (丁度良い8/15人)
- わかりやすさ (どちらかというと分かりやすかった11/15人)
 - 分かりにくかった理由: グラフ、表、図がわかりにくい、カーボンプライシングなどの専門用語がわかりにくい
- 興味がもてた (10/15人 (とても興味がもてた (4/15人)+やや興味がもてた (6/15人))
 - 興味を持ってないと思った理由: 2050年は先の未来過ぎて自分に関係ないと思ってしまう、専門用語が難しい
 - カーボンニュートラルなど個人に関係ない話
- 納得感 (12/15人 (とても納得感があった (4/15人)+やや納得感があった (8/15人))
 - 納得感がないと思った理由: 具体的な内容がない、具体的な案がない、専門用語がわからない
 - ⇒パンフレットの情報を自分事化できにくい

全ページを読了している人が多いことから、調査対象者の興味・関心の高さは伺える。
また新しい情報として知るページが多く、そのため専門用語やグラフなどが難しく感じられている
様子がうかがえる。もっと生活者がイメージしやすい具体性は求められている。

『これからの日本のために財政を考える』パンフレットを読む以前(事前)、読んだ後(事後)について

- 日本の財政状況、財政赤字について「財政赤字は大変な問題」(事後9/15人←事前4/15人)
「財政赤字はある程度問題」(事後4/15人←事前2/15人)
- 財政赤字の原因「社会保障費」(事後9/15人←事前5/15人)、「国債費」(事後9/15人←事前3/15人)
「政治の無駄遣い」(事後8/15人←事前8/15人)
- 国民負担と歳出改革について「歳出を抑えて負担を回避」(事後8/15人←事前6/15人)
- 30年後の日本「社会保障等が増え続け、財政がさらに悪化する」(事後13/15人←事前7/15人)
- 持続可能性を高めるために大事なものは「将来世代の視点に立ち、遡って現在において真に取り組むべきことを考えた意思決定を行う」(事後7/15人←事前1/15人)

『これからの日本のために財政を考える』パンフレットを読んだ後では、“財政赤字が問題”であることは理解されており、赤字の原因は「社会保障費」、「国債費」、であることが認識されている。(「政治の無駄遣い」は読む以前からそう思われている)
国民負担と歳出改革については、「歳出を抑えて負担回避」が増えており、負担増への容認は厳しいことがうかがえる。

30年後の日本については「社会保障等が増え続け、さらに財政が悪化する」が約倍となっており、社会保障費の負担の重さをかなり理解されたことがうかがえる。
防衛やカーボンニュートラルなど専門的な話よりも、自分事化しやすい社会保障費から生活者は財政を考えることがしやすいと思われる。

年代

年代	人数	
20代	5人	5人
30代	3人	3人
40代	3人	3人
50代	4人	4人
合計	15人	

居住地

居住地	人数	
東京	10人	10人
千葉	1人	1人
埼玉	2人	2人
神奈川	2人	2人
合計	15人	

職業

職業	人数	
正社員	6人	6人
派遣・契約社員	1人	1人
公務員	1人	1人
パート・アルバイト	3人	3人
大学生	3人	3人
主婦・主夫（専業）	1人	1人
合計	15人	

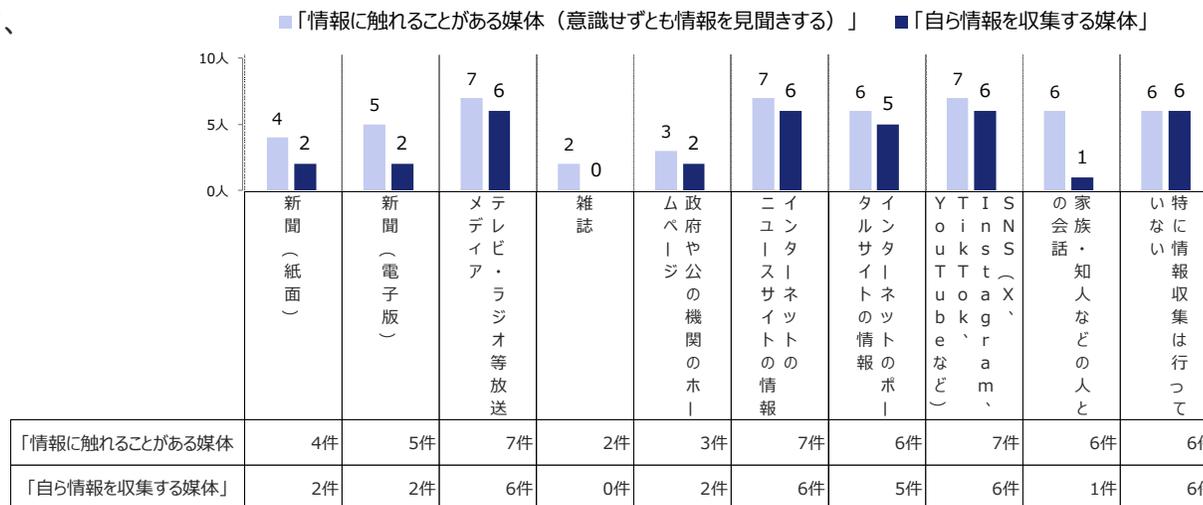
同居家族

同居家族	人数	
同居の家族はいない （一人暮らし）	5人	5人
配偶者	6人	6人
子ども（大学生以下）	6人	6人
子ども（社会人）	1人	1人
父（義父）	3人	3人
母（義母）	2人	2人

F7 あなたは日本の「経済」や「財政」について、どのくらい興味がありますか。
 ※日本の「経済」は、国としての景気や経済成長状況、国内外の諸企業の動向などに関する事、とお考えください。日本の「財政」は、国としてのお財布状況や、政策実行のためにどのようにお金を集め（税金や国債発行等）、それをどう使うかといった国の方針等に関する事、とお考えください。

1:興味がある	4人	4人
2:やや興味がある	3人	3人
3:どちらともいえない	2人	2人
4:あまり興味がない	4人	4人
5:興味がない	2人	2人

F8 あなたは日本の「経済」や「財政」について、普段どのように情報を得ていますか。
 「情報に触れることがある媒体（意識せずとも情報を見聞きする）」と、その中で「自ら情報を収集する媒体」を、それぞれ教えてください。（情報に触れることがある媒体）



F9 あなたは日本の「経済」や「財政」の情報に対しどのような態度をとっていますか。あなたに最も近いものを1つずつ選んでください。

1:常に積極的に情報を収集している	3人	3人
2:興味・関心がある情報は収集することがある	2人	2人
3:情報を見聞きすることがあり、そこから興味・関心を持つこともある	3人	3人
4:情報を見聞きすることがあるが、興味は持たない	5人	5人
5:情報を見聞きしない	2人	2人

F10 あなたが最近気になった日本の「経済」や「財政」に関する出来事・ニュースを教えてください。
あなたご自身に影響があること、良いと思ったこと、不安に思ったこと、こんな話題をよく目にする／話をした…など、どのようなことでも構いません。

円安、ドル高、アメリカ大統領（トランプ大統領）

- 円安が続いていること アメリカの大統領が変わったあとの影響も特に気になっている
- アメリカ大統領選挙
- 2024年はドル高が続き、2025年もしばらく続く予想。トランプ大統領になってどうなっていくのか。

扶養の壁（103万円の壁）

- これまで物価や最低賃金は上がっているにも関わらず、扶養の壁が103万円のまま据え置きだった状況は問題だったと思うので、金額が103万円から繰り上げられることになったのは良かったと思う。SNSでも大きな話題になっていたと感じる。
- 中国のどさ緩和、年収103万円の壁見直しが足踏み

物価、金利、株価

- 日銀の政策決定会合 利上げすると株価に影響がでるから
- 物価の上昇 緊縮財政
- 食料品の値上げや、米の異常な値上がり。
- 物価高は上がっているのに収入はなかなか増えないので将来満足いく生活ができていないか不安。

2025年問題

- 2025年問題です。5年ごとに起きる問題だそうで、2025年は団塊世代の定年化による人材不足や高齢化による医療費などの増大、海外情勢の影響による物価高がますます加速するなどの様々な問題だそうです。仕事をしていて、若手や腕のある職人の不足、資材の高騰、IT系へ力を入れる難しさを普段から感じているので身近な問題に感じています。よく高齢化問題は目にしますので、自分や日本の経済状況の将来に対する不安は高まっています。

財政赤字

- 財政赤字というワードをニュースで聞いた。

年金

- 高収入に対しての年金保険料率の上限をこれまで以上に上げるが、将来の年金支給額も上げる事で、批判をそらそうとしているようだが、今の若い世代が給付される時期まで、制度が維持できるとは思えない。

特に無し 2人

Q1 ほとんど読まなかったページがあれば、すべて教えてください。(いくつでも)

[II - 5]どのくらい借金に依存してきたのか	1	1
[II - 7]なぜ財政は悪化したのか (財政構造の変化)	1	1
[II - 8]高齢化により増大する社会保障関係費	1	1
[II - 9]社会保障関係費は今後も増えるのか	1	1
[II - 10]諸外国の支出と税収の規模	1	1
[II - 11]「借金」の問題点	1	1
[IV - 17]防衛・安全保障	1	1
全てのページを読んだ	13	13

計 15人

Q2-1 全体を通してあなたが新しく知ったことは多かったですか。(お答えは1つ)

1:とても多かった	3人	3人
2:わりと多かった	7人	7
3:わりと少なかった	3人	3人
4:とても少なかった	2人	2人

計 15人

Q2-2 あなたが新しく知ったことがあったのは、どのページですか。すべて教えてください。(いくつでも)

[V - 19]プライマリーバランスとは何か	12	12
[IV - 16]グリーン・トランスフォーメーション	11	11
[V - 18]日本はどのように財政健全化を図っていくのか	10	10
[II - 10]諸外国の支出と税収の規模	9	9
[IV - 17]防衛・安全保障	8	8
[II - 6]日本の借金の状況	7	7
[II - 12]金利動向と財政運営	6	6
[III - 13]経済成長と財政	6	6
[III - 14]経済成長の持続可能性	6	6
[I - 4]財政はどのくらい借金に依存しているのか	5	5
[II - 5]どのくらい借金に依存してきたのか	5	5
[I - 3]予算はどのような分野に使われているのか	4	4
[II - 7]なぜ財政は悪化したのか (財政構造の変化)	4	4
[II - 8]高齢化により増大する社会保障関係費	4	4
[I - 2]財政とは	3	3
[II - 9]社会保障関係費は今後も増えるのか	3	3
[IV - 15]こども・子育て政策	3	3
[II - 11]「借金」の問題点	2	2
[20]未来のために、今、私たちは何をすべきか	2	2
[I - 1]財政と日本の課題	1	1
新しく知ったことはない	1	1

※降順ソート

Q3 全体的にパンフレットの情報量は適切でしたか。(お答えは1つ)

1:少な過ぎる	0人	0人
2:やや少ない	1人	1人
3:ちょうど良い	8人	8人
4:やや多い	6人	6人
5:多過ぎる	0人	0人

計 15人

Q4-1 全体的にパンフレットの内容は分かりやすいと思えましたか。(お答えは1つ)

1:とても分かりやすかった	0人	0人
2:どちらかというと分かりやすかった	11人	11人
3:どちらかというと分かりにくかった	3人	3人
4:とても分かりにくかった	1人	1人

計 15人

Q4-2 分かりにくいと思ったのはどのページですか。特に分かりにくいと思ったページを、上位3つまで教えてください。

[II -12]金利動向と財政運営	4	4
[III -14]経済成長の持続可能性	4	4
[IV -16]グリーン・トランスフォーメーション	4	4
[V -19]プライマリーバランスとは何か	4	4
[V -18]日本はどのように財政健全化を図っていくのか	3	3
[II - 6]日本の借金の状況	2	2
[II - 7]なぜ財政は悪化したのか (財政構造の変化)	2	2
[II -10]諸外国の支出と税収の規模	2	2
[III -13]経済成長と財政	2	2
[20]未来のために、今、私たちは何をすべきか	2	2
[I - 3]予算はどのような分野に使われているのか	1	1
[II - 9]社会保障関係費は今後も増えるのか	1	1
[IV -17]防衛・安全保障	1	1
あてはまるものはない	2	2

※降順ソート

Q4-3 「分かりにくい」と思った理由をお答えください。(FA)

全体を通して

- 財政が悪化した理由は財務省を含め、官僚や閣僚が自分の私腹を肥やすことに使いまくっているからなのに、何やかんや別の言い訳をして嘘まみれの内容しか全てのページの全ての内容において書いてなかったから、信用できないと思ったため。

[II-6]日本の借金の状況

- II-6は、なぜ「どれくらいの借金をしているかが重要」なのか理由がわからない

[II-7]なぜ財政は悪化したのか（財政構造の変化）

- 7 公債金歳入が同歳出を上回れば財政悪化は確実と考えるのが一般的なのに、公債金増加の部分にしか触れていないように思えます。この点、歳入6倍増に対し、歳出が2倍増にとどまるのであれば、問題はないようにみえなくもないですが、事実はそうではなく、そのへんがボヤツとしたページになっているような気がします。

[II-9]社会保障関係費は今後も増えるのか

- 下半分75歳以上人口の表組の上下で、年齢で縛っている点は同じなのに、比較対象が異なるため、戸惑った。別項目にして欲しい。

[II-10]諸外国の支出と税収の規模

- 10に関しては社会保障以外の支出規模が低い→つまり何がどうい問題が起こるのが分かりにくかった。
- 10 諸外国と3項目について比較していますが、比較に係る各評価はどうなのかが判然としません。

[II-12]金利動向と財政運営

- 12は下のグラフ、色別がわかりにくい。グラフ下の1年などの年数の意味がわからない。
- 12の1番下の折れ線グラフの色別が何を示しているか分からなかった。色別が何の年数が示してくれたら良かった。
- 12、14、16、3ページとも文章と表を見ても内容を理解することができなかった。グラフに捕捉文を足してもらえると分かりやすい。また、専門用語を分かりやすい文章にしてほしい。
- 12、13、14ページの大部分が図になっていてその図を読み解かないといけなくなるのでしっかりみて読み込まないといけないので分かりにくかった。文章とイラストのみの構成にしたら分かりやすいと思った。図は入れるにしても小さくついでみたいな感じにしてほしい。図がメインだと読みたくなくなる。図が他のページと比べて複雑なものだったので理解しにくかった。

Q4-3 「分かりにくい」と思った理由をお答えください。(FA)

[Ⅲ-13]経済成長と財政

- 13 付加価値を生み出す支出とは何か、イメージがづらいです。

[Ⅲ-14]経済成長の持続可能性

- 14は私は理解できたが名目?実質GDPと設備投資に関しては経済学等を学んだことがない人には馴染みがなく理解しづらいのではないかと感じた。
- 14はグラフが多すぎるのでわかりにくい。グラフ数を絞り分かりやすい説明が欲しい。

[Ⅳ-16]グリーン・トランスフォーメーション

- 16はGXという単語を初めて聞いたのと、それをどう活用していくのかのビジョンや仕組みがわかりづらいと感じた。
- 16はカーボンプライシングの意味がわからないのでグラフもわからない。用語の説明が欲しい。

[Ⅳ-17]防衛・安全保障

- 17に関して日本が置かれている前提条件(自衛隊であったり、各国との安全保障条約)がないので、伝わりにくい。戦後の軍の成り立ちなどの記述があればわかりやすくなると思う。そこから財政全体の話となったので、納得しづらい

[Ⅴ-18]日本はどのように財政健全化を図っていくのか

- Ⅴ-18は「PB」の説明が上段にあれば分かりやすかったから。

[Ⅴ-19]プライマリーバランスとは何か

- 19はバランスについてはわかるが利払費などの言葉が難しい。
- 文章を読んでいるとなんとなく理解できそうだったが図として見た時にイメージができなかったため

[20]未来のために、今、私たちは何をすべきか

- 20は考えて見ましようとして書いてあるが、自分で考える内容にしては難しいと思う。
- 今、私たちは何をすべきかの具体例がこのページには全くなく、読者である私に問われても困ると思った。考えてみようとあるならば、例の一つでもあると良いと思った。

Q5-1 全体的にパンフレットの内容には興味が持てましたか。(お答えは1つ)

1:とても興味が持てた	4人	 4人
2:やや興味が持てた	6人	 6人
3:あまり興味が持てなかった	3人	 3人
4:まったく興味が持てなかった	2人	 2人

計 15人

Q5-2 あなたが興味を持てなかったのはどのページですか。特に興味を持てないと思ったページを、上位3つまで教えてください。

[IV-16]グリーン・トランスフォーメーション	6	 6
[IV-17]防衛・安全保障	3	 3
[20]未来のために、今、私たちは何をすべきか	3	 3
[I - 1]財政と日本の課題	2	 2
[I - 2]財政とは	2	 2
[II - 11]「借金」の問題点	2	 2
[II - 12]金利動向と財政運営	2	 2
[II - 5]どのくらい借金に依存してきたのか	1	 1
[II - 6]日本の借金の状況	1	 1
[II - 7]なぜ財政は悪化したのか（財政構造の変化）	1	 1
[II - 10]諸外国の支出と税収の規模	1	 1
[III - 13]経済成長と財政	1	 1
[III - 14]経済成長の持続可能性	1	 1
[V - 18]日本はどのように財政健全化を図っていくのか	1	 1
[V - 19]プライマリーバランスとは何か	1	 1
あてはまるものはない	1	 1

※降順ソート

Q5-3 「興味を持ってない」と思った理由をお答えください。(FA)

全体を通して

- 全てのページ、すべての内容において嘘しか書いてなくて信用ならないと思ったから。特に、16のカーボンニュートラルなんて官僚、閣僚たちの利権のために、日本のための動きでないで、読んでいて怒りしかなかった。

[I - 1] 財政と日本の課題

- 1、2、11の3つとも、文章の内容が当たり前のこと過ぎて、得られるものがなかったため

[II - 5] どのくらい借金に依存してきたのか

- 5は過去の事なので興味を持ってない 6は借金の状況を他国と比較しても現状は変わらないので意味ないと思うから 7は言い訳のように感じてしまうから 説明書きは分かり切っている事だから 5.6.7のグラフは大きくて分かりやすい。文章量はちょうどいい。

[II - 10] 諸外国の支出と税収の規模

- 10は突然他国との比較ランキングのようなものを提示されても何を示したいのかわかりづらく、見る気を無くしてしまったから。世界の国と比べて30位程度ならばそこまで低い水準ではないのではないかと感じたので深く見ようと思わなかった。16は2050年という文字で割と未来の話だと感じ、今の自分には関係ないかなと思ったから。また、カーボンニュートラル等も個人には関係のない話題に感じたから。

[II - 12] 金利動向と財政運営

- 12、13、14ページがほぼ図のみで構成されていて目つほかのページの図よりも複雑な図で理解するのが難しかったので興味を持つことができなかった。図を入れるにしてももっと小さくして文章で説明して欲しい。
- 12は金利上昇があり健全化が必要とあるが自分ではどうする事も出来ないの。16はカーボンプランニング、GXなどの用語がややこしく感じた。

[IV - 16] グリーン・トランスフォーメーション

- 16の投資は自分には関係ないと思った。
- 16は、2050年というかなり先の話をされても全体のイメージがわからなかったため。17は、普段生きていて戦争や防衛について全く気にしない内容だったため。19は、下の債務残高についての解説で分数の部分は何を表しているかが分かりづらかったため。テーマ的に難しい内容なのでパンフレットだけで理解するのは難しいように感じた。
- 16ページ、日本が直面する課題への対応で、子ども・子育て政策や防衛・安全保障のページはイメージがつきやすかったが、16ページは専門用語が多く興味を持ってなかった。分かりやすい文章や図の色味を明るい色なら興味を持てたと思う。

[IV - 17] 防衛・安全保障

- 下欄の防衛力の例を見ても、自分を含め素人には具体的なイメージが掴みにくいと思います。
- 防衛費は国が決めてしまうもので、個人の考えが反映されるとは思えないから 写真を載せたりして興味を持てるようにすると良いと思う。

[V - 18] 日本はどのように財政健全化を図っていくのか

- 借金の問題点においては、借金の原因が挙げられておらず、どのように財政健全化を〜と、未来のために〜は具体例が挙げられておらず、中身が感じられない。例として18にPBを黒字化とあるが、どう黒字化していくつもりなのか記載されていないので中身がないように感じる。

[20] 未来のために、今、私たちは何をすべきか

- 「私たちは何をすべきか」とタイトルで問いかけているのに対し、本文の中で回答となるような具体的な例がなく、参考にならないと思ったから。
- 単純にブレンストーミング的な事、想像する事が苦手なものもあるが、回答が例題に影響されるので、具体的な例は不要に思えてしまう。挿絵が幼稚に思えます。

Q6-1 全体的にパンフレット言っていることには納得感がありましたか。(共感できましたか) (お答えは1つ)

1:とても納得感があった	4人	4人
2:やや納得感があった	8人	8人
3:あまり納得感がなかった	1人	1人
4:まったく納得感がなかった	2人	2人

計 15人

Q6-2 あなたが納得感がなかった(共感できなかった)のはどのページですか。特に納得感がなかったページを、上位3つまで教えてください。

[IV-17]防衛・安全保障	4	4
[20]未来のために、今、私たちは何をすべきか	3	3
[II-11]「借金」の問題点	2	2
[III-14]経済成長の持続可能性	2	2
[II-7]なぜ財政は悪化したのか(財政構造の変化)	1	1
[II-10]諸外国の支出と税収の規模	1	1
[III-13]経済成長と財政	1	1
[IV-15]子ども・子育て政策	1	1
[IV-16]グリーン・トランスフォーメーション	1	1
[V-18]日本はどのように財政健全化を図っていくのか	1	1
あてはまるものはない	6	6

※降順ソート

Q6-3 「納得感がない」と思った理由をお答えください。(FA)

[II-7]なぜ財政は悪化したのか(財政構造の変化)

- 7は財政が悪化した理由について、**財政の無駄についての言及がない**から。17は、防衛、安全保障について**各国との外交問題に依存していることに触れられていない**から。

[II-10]諸外国の支出と税収の規模

- 10は**諸外国と比較しても意味がない**から 11は**イラストがおどしているように感じる**から 16は**カーボンライジングの意味がわからない**から **用語の説明が欲しい**

[II-11]「借金」の問題点

- 私が選んだページ(11、18、20)全てにおいて、それぞれに対する**具体例や具体案が書かれていないので読んでいても中身がないように感じた**。例として11については**借金の原因が未記載**、18については**PB黒字化の具体案がない**、20については**私たちは何をすべきかとあるのに読者に丸投げで具体案がない**。

[III-13]経済成長と財政

- 扱っているものが大きすぎて**実感がなく、今まで財政資源を最適に分配してたかはグラフを見てもあまり分からない**から。

[III-14]経済成長の持続可能性

- 14ページの名目、実質GDPとも、2023年度に過去最高水準に達した。とありますが**実際自分で生活していて年々ずっと下がっているように感じていたので本当に最高水準に達したのかと納得できなかった**。**過去最高水準に達したからたとえばこんなことがこの年にはありましたなどの例を入れて欲しい**。15ページと17ページも書かれてはいるものの**普段自分とは関係のない事柄なので実感が湧かず想像しにくく納得はできなかった**。また、多額のお金をかけているにもかかわらず**普段接するSNSなどで子育てをしている人や防衛関連に勤めている人の愚痴などを見ているのでここに載っている情報が疑わしく思えた**。3ページ全て図をもう少し小さくして**文章の説明メインにして欲しい**。

[IV-17]防衛・安全保障

- 子育て等の政策に対して**防衛力整備計画の支出増加規模が16兆円というのが高すぎるのではないかと感じ、防衛費にそこまでの支出が必要なのか疑問に感じた**から。
- **下欄を見ても防衛力の例についてのイメージがわきづらい**ことによる点が大きいです。

[20]未来のために、今、私たちは何をすべきか

- 20の何をどう変える?を読んで**結局自分たちにできることはなさそうだと思った**。私たちに今できることという項目があったら良かった。
- 20ページ、ページの色味が全体的に暗く、青みの部分がとくに印象に残ってしまう。**未来のために考えるページなので明るい色味にして欲しい**。

SC1 日本の財政状況、財政赤字についてどのようにお考えですか。以下の中から、あてはまるものを1つ選んでください。

	事後	事前
1:財政赤字は大変な問題	9人	4人
2:財政赤字はある程度問題	4人	2人
3:どちらともいえない	1人	2人
5:財政赤字はまったく問題ではない	1人	2人
4:財政赤字はあまり問題ではない	0人	3人
6:わからない	0人	2人

変化有り	11
変化無し	4

変化した理由・変化しなかった理由

	事後	(事前)
変化有り	1:財政赤字は大変な問題	(2:財政赤字はある程度問題)
		(3:どちらともいえない)
		(4:財政赤字はあまり問題ではない)
		(5:財政赤字はまったく問題ではない)
		(6:わからない)
		(1:財政赤字は大変な問題)
	2:財政赤字はある程度問題	(3:どちらともいえない)
		(4:財政赤字はあまり問題ではない)
		(6:わからない)
3:どちらともいえない	(4:財政赤字はあまり問題ではない)	
変化なし	1:財政赤字は大変な問題	
	5:財政赤字はまったく問題ではない	

S1は、このパンフレット全体を読んで、財政赤字が今後の負担が増える大変な問題であると理解したから。
 II章「厳しい財政事情」全体を通して、日本の財政がかなり悪い状況であり、改善策を取らなければ国債の信頼が低下したり、将来の負担が増えたりなど多くのリスクがあることがわかった。このことから、当初よりも、財政問題は重大なのだと認識が変化した。
 いままで財政赤字について興味がなかったが、今回パンフレット全体を読んで、将来安心して暮らせるように、行動や選択を変えなければならないと考えが変化した。
 今回のパンフレット全ページを読み込んだので財政がどれだけひどいのかよく分かった。
 他国よりも財政状態が悪いと読んで危機感を覚えた。防衛費が上がっているのも何故なのか気になった。数字で見て具体的な状況が分かった。
 国の借金がいくらなのかという数字を、このパンフレットで初めて目にしたから。
 現在の財政状況が今後の取り組みによって少しでも良くなれば問題の大きさも、少し小さくなりそうだと感じたので。
 前は財政について全く理解がなく、今回パンフレットを読んで多少内容が理解できたため。
 パンフレットの内容の、特に歳出の内訳や、他国との財務状況の比較を見て、個人でもある程度は問題視した方が良いのではないかと感じたから。
 パンフレットを見て財政の状況について考えさせられたから
 赤字が多すぎるのは将来的に良くないから

持っている考えと、パンフレットの7の記載が一致していました。
 赤字額がとても多く、どんどん膨らんでいく一方なので、大変な問題だと思うのは変わらないから
 ある程度知って認識している内容だったので。
 パンフレットがうそみれで、読んでも自分の今の考えに影響はないため、回答内容に変化が起きなかった

SC2 財政赤字の原因は何だと思えますか。あてはまるものを3つまで選択してください。

	事後	事前	
1:社会保障費	9件	5件	5 9
6:国債費（過去の借金の返済等）	9件	3件	3 9
5:政治の無駄遣い	8件	8件	8 8
7:経済の停滞	5件	3件	3 5
2:公共事業費	2件	4件	2 4
3:防衛費	2件	1件	1 2
4:公務員の人件費	2件	2件	2 2
8:その他	0件	2件	0 2
9:わからない	0件	2件	0 2

変化有り	13
変化無し	2

変化した理由・変化しなかった理由

変化有り	社会保障費	当初は現代日本の経済は停滞しているのだと思っていたが、14ページにあるように実際には景気回復の兆しがあるのだと分かり、認識に誤りがあったから。 経済が活性化の方がより重要だと思ったから 社会保障費は負担が大きいから 社会保障費や国債費が財政赤字の原因だということをうすうす知ってはいたけどそこまでいうほどのことではないと認識していた。だけど今回のパンフレットをよんで実際の額やこれからどうなるかななどを詳しく見たことによりかなり酷い状況だということがわかり解答が変わった。政治の無駄遣いが変わらなかったのはSNSなどで政治家の多額のお金にまつわる不祥事をみるのでこのパンフレットを読んだからといってその思いは変わらなかった。 8と17から防衛費と社会保障費が思っていたよりも費用がかかっていた。 前回は財政赤字について全く理解していなかったが、今回パンフレットを読んで多少内容を理解できたため。 今までは財政赤字のことがわからなかったが、パンフレットの財政事情を読んで、社会保障費、国債費、経済の停滞にお金がかかっているのを知ったから。
	公務員の人件費	常日頃の認識として思っていた事なので大筋は変わらないが、公務員数と議員数は人件費削減の意味で回答にブレが生じました。
	政治の無駄遣い	パンフレットを見て心境変化があったのではなく、今回の設問内容の意図を早くとちりして回答したため 無駄な出費があることを自分ごととして考えたため 9で社会保険費の負担がさらに増えていくことや、最近のニュースで公務員というよりは政治家に対する賃金が見合っていないなあという印象を抱いたため変化した。政治の無駄遣いに選択が変わらなかったのはこのパンフレットを読んで全体的に具体案、例としてPB黒字化についての具体案といった内容が書いてなかったのが昔から変わらず具体案がないままに政治を行なっているのだなと思ったから。
	国債費（過去の借金の返済等）	S2は、このパンフレットの4ページを読んで、国債費が多いことを学び、5ページからコロナ禍などの不景気が経済停滞させることで経済の循環が悪くなることを学んだため財政赤字が起こると思 国債費に係るリアルな数字を見ると、考えが変わりました。政治の無駄遣いについては、パンフレットをみても特段触れているとは思われず、従前の考え方は変わりません。 以前は漠然と社会保障費や公共事業費にお金がかかっていると思っていたが、実は国債費という借金の比重が大きいとわかったから。
変化なし	社会保障費	パンフレットでの8、9、17の解説を見て、見る前の自分の財政赤字についての考えや予想の通りであったから。 社会保障費は高齢化でどんどん支出が増えていく、過去の借金は減らない、経済はコロナにより停滞しているのを感じているから

SC3 国民負担と歳出改革との関係について、今後政府はどのような方針で臨むべきだと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	事後	事前	
1:歳出は現状維持で負担を増やす	1人	1人	1人 1人
2:歳出を増やして負担も増やす	2人	2人	2人 2人
3:歳出を抑えて負担を回避	8人	6人	8人 6人
4:歳出を抑えて負担を増やす	0人	0人	
5:歳出を増やす一方、負担は回避	1人	1人	1人 1人
6:わからない	3人	5人	3人 5人

変化有り	6
変化無し	9

変化した理由・変化しなかった理由

	事後	(事前)	
変化有り	1:歳出は現状維持で負担を増やす	(3:歳出を抑えて負担を回避)	保障等は現状維持して欲しいので、負担を増やすしかないと思った。
	3:歳出を抑えて負担を回避	(1:歳出は現状維持で負担を増やす)	歳出が増える、増えていくことしか書いていなくて、減らす努力をしていると感じられる文章がないので、少しでも歳出を抑える工夫をするべきだと思ったから
		(5:歳出を増やす一方、負担は回避)	前回回答も今回内容も歳出の意味がよくわかっていなかったため、回答に相違が生じたから
	(6:わからない)	パンフレット全体を読んで理解がふかまり、わかりやすく質問が理解できたから	
5:歳出を増やす一方、負担は回避	(3:歳出を抑えて負担を回避)	いままで財政について分からなかったが、財政赤字が多いことを知り歳出は抑えた方が良いと思った。負担は増やした方がいいと思うが増えないで欲しい。このパンフレットを読んで歳出は減らしたくても減らせないものだと思ったので歳出を増やして経済などを回していきつつ負担を回避した方が将来的に良くなりそうだったから。	
変化なし	2:歳出を増やして負担も増やす		負担と歳出を増やすことで、財政構造の健全化と今改善すべきところへ支出を増やして2つの点で改善を図るという考えに変化がなかったから。
			財政出動の規模拡大は避けられないと考えており、そうならば、国民による応分の負担も避けられないと考えることに変わりはありません。
	3:歳出を抑えて負担を回避		もともと日本には多くの借金があると思っていたので、歳出を抑えて借金を減らす必要があると感じていた。パンフレットの13を読んで、財政支出を重ねたことが債務残高の増加に影響したとあるので、歳出を抑える必要があるという認識に変化はなかった。
			歳出を抑えて負担を回避できたら良いと思うから 常日頃の認識で思っている事なので。
6:わからない		負担を増やすとキリがないので負担にならないような対策	
		5ページから歳出と歳入に関して、まだ理解が深くないため、どのような方式にすべきか今も考えることが難しいため。	
		パンフレット全体を読んでも国民負担と歳出関係が頭に入ってこなかったから。	
		パンフレットを読んでもいまいち理解できなかったため。	

SC4 このまま財政政策が変わらないとすると、30年後の日本はどのようになると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

	事後	事前	
1:社会保障費等が増え続け、財政がさらに悪化する	13人	7人	
2:国の信用が低下して円安やインフレが起こる	2人	3人	
3:何も問題は起こらない	0人	1人	
4:景気が良くなり、税収が増加する	0人	0人	
5:少子化が改善し、社会保障の給付と負担のバランスが安定する	0人	0人	
6:わからない	0人	4人	

変化有り	7
変化無し	8

変化した理由・変化しなかった理由

	事後	(事前)	
変化有り	1:社会保障費等が増え続け、財政がさらに悪化する	(6:わからない)	このパンフレット全ページから、社会保障費用が増え、将来世代の負担も増えて、景気の減退が起こると学んだから。
		(2:国の信用が低下して円安やインフレが起こる)	インフレにもなると思うが、政策が変わらないとより財政が悪化と思うから8を見て、少子化で人口が減るから財政が悪化すると感じた。
		(3:何も問題は起こらない)	高齢化社会になって、社会保障は必然的に増えると思ったので。
		(6:わからない)	9を読んで、2025年に団塊の世代全員が医療や介護費用が増加する年齢になるとあったので、国が赤字なのに負担が増える原因も増えていくのは辛いと思ったから。 税金や借金がさらに増えてしまうから。 赤字が続く未来を想像できたから

変化なし	1:社会保障費等が増え続け、財政がさらに悪化する	もともとこのままの日本の財政だと社会保障費は増えていくという認識があり、パンフレットの9ページの社会保障制度の支え手である現役世代の人口が減少し負担がより重くなるという文からそれを再確認したので、変化はなかった。 これまでの財政悪化（国債発行と同返済のバランス等）の経緯に鑑みれば、何も変わらなければさらに悪化するの は 自明だと思います。 高齢化で年金、介護費、医療費などの歳出が増えていく一方だと思っからパンフレットを読んでも自分の今の考えに何も影響を及ぼさなかったため。
	2:国の信用が低下して円安やインフレが起こる	このパンフレットを読んで私が認識していたことも多々書かれていたので考えは変わらなかった。高齢者が今後増え少子化が進むということは高齢者によって今後さらに社会保障費が増えて結果財政が悪化しそうだと思ったから。 常日頃の認識で思っている内容なので。 前回と今回パンフレットを読んでも考えは変わらなかったため。 現時点で円安が進んでいるというのは事実のため、このまま財政政策が変わらないと仮定するのならば、円安やインフレが起こるのではないかと考えているから。

SC5 財政に限らず様々な課題において持続可能性を高めるためにはどちらが大事だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。
 ※選択肢の()内の文章は、例として財政に関する考え方を記載しています。

	事後	事前	
1:今の生活を第一に考えた意思決定を行う (例：減税し、たくさんの補助金や給付金により景気を活性化させ、国債をたくさん発行する)	5人	8人	
2:将来世代の視点に立ち、遡って現在において真に取り組むべきことを考えた意思決定を行う (例：保険料や税金の引き上げといった負担を現世代で分かち合い、将来の豊かな生活のための余力を残す)	7人	1人	
3:わからない	3人	6人	

変化有り	7
変化無し	8

変化した理由・変化しなかった理由

	事後	(事前)	
変化有り	2:将来世代の視点に立ち、遡って現在において真に取り組むべきことを考えた意思決定を行う	(1:今の生活を第一に考えた意思決定を行う)	現役世代で解消できる事には、とりあえず取り組むべきだと考え直した。 社会保障は現状維持して欲しいので、負担を増やすしかないということが分かったので、しょうがなく選択した。
		3:わからない	20ページ1行目から、負担が増えてしまうことため現代だけでなく、将来世代のことも考えることも重要であると学んだから。 当初は何が大事なのかわかっていなかったが、パンフレットの11全体を読んで借金の問題などを理解したので、将来に負担を先送りにしないために、現在できることに取り組んでいかなければいけないと感じたから。 先々を考える必要性を感じ取れたので 将来、財政が悪化しないために、保険料や税金の引き上げが必要だと感じた。
	3:わからない	(1:今の生活を第一に考えた意思決定を行う)	今回パンフレットを読んでよくよく考えてみれば、どちらも大事だと思い、どちらか一方には決めきれなかったため。

変化なし	1:今の生活を第一に考えた意思決定を行う		人間として今の自分に手厚く保障してほしいというのは自然な考えだと思っており、その考えがパンフレットを読む前後で変わらなかったから。 今の生活を変えるのは難しいから 今、物価高で給料が上がらないのを感じている子供が中学生で塾代もかかるので塾代だけで5万以上かかっています。生活していくのが大変で将来世代の視点に立つほどの余裕がないから パンフレットを読んでも自分の考え方には何も影響を与えなかったから。
		2:将来世代の視点に立ち、遡って現在において真に取り組むべきことを考えた	今回パンフレットを読んでよく考えたところ、将来を見据えて今をおろそかにすると今の世代の鬱憤が溜まりいつかは爆発すると思う。そんなことでは将来のことなど言っていられない。なのでまず今の生活を第一に考え今をどうにかしたほうが良いと思った。今が良くなればきっと経済も良い方へ向かうと思うのですると結果的に将来にもつながると思ったから。なので解答の変化はなかった。
	3:わからない		今のことも大事なのが当然ですが、いわゆるPDCA的な視点を持ち、先を見据えた政策を行わないと、良くなるものも良ならないと考えるためです。 課題対策をしても効果的なのか時間が経たないと分からないという考えに変化はなかったから 20を読んで、私たちは何をすべきかとあったので具体案があるのかと思ったら、書かれていなかったので私にもどうすれば良いのか分からないと思ったから。

